

おきなわの いろ 彩鳥

四季を告げる野鳥は沖縄の美しい自然そのもの。
希少な存在になってしまったものも少なくありません。
いつまでも守り続けたい生命の輝きがここにあります。

全長 13cm、本州以南に留鳥として分布しています。
沖縄県内でも留鳥として生息し、
普通に見られる身近な野鳥です。
耕作地や草地などに生息しています。
飛びながら盛んに鳴く様子から、
方言でチンチナーなどと呼ばれています。
本種の事をヒバリと呼ぶ方も多いようですが、
ヒバリは冬季に飛来する希な冬鳥でセッカとは別種です。

身近な野鳥 “チンチナー”
「セッカ」



スズメ目ウグイス科 *Cisticola juncidis*
レッドデータなどに指定無し



Photographer
小原 祐二・Obara Yuji

1968年鹿児島県生まれ。琉球大学生物学科卒業後、沖縄で環境調査に従事。
ウェブサイトおきなわカエル商會を運営、沖縄の自然を紹介している。
HP <http://www.okinawa-kaeru.net>